

まちの話題
プラス

無病息災と五穀豊穡の伝統のまつり『もぐらもち』

10月5日、大東地区・広野で『もぐらもち』がありました。『もぐらもち』は無病息災と五穀豊穡を祈願する祭りで、各家庭では月見の祝い座に数々のお供え物や料理を並べては見学に来た人などを温かくもてなします。今年もメゴスリたちが家々を訪問し、盛大に無礼講を働きました。メゴスリをはやし立てる子どもたちの「もぐらもちや、どんどこせ」のかけ声が威勢良く響く中、秋の夜は賑やかにふけていきました。



メゴスリに抱かれ泣く赤ちゃん



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

地域づくりに生かします



10月20日から21日にかけて、串間市人材育成推進協議会主催の視察研修がありました。串間市青年団体連合会に属する団体と一般からの参加者で、鹿児島県の「かごまふるさと屋台村」や「桜島ビジターセンター」、「九州電力山川発電所」などを訪問。参加者は担当者や経営者の話を聞きながら、実際にツアーを体験するなどして、今後の活動の参考にしていました。



INTERVIEW

今後に役立つ

市木地区・上石波
渡邊尚さん

すごく勉強になる研修でした。特に桜島での研修が参考になりました。そこにしかないものを見つけて、地域活性化に活かす。それを「商品」として提供していることは素晴らしいと思いました。今後自分の地域に活かしていきたいです。

Scene 5

地域力で開催、市木柱松



10月7日、市木地区伝統の火祭りがありました。市木小学校児童による『子供柱松』で開幕。同保育園児による『松の下笹踊り』や、高畑山航空自衛隊によるひょっとこ踊りも華を添えました。高さ約20mの柱松は地元の男たちが人力で立ち上げます。男たちが投げた松明は見事なアーチを描き、約10分後には頂上の籠に点火。会場は大いに盛り上がりしていました。



INTERVIEW

投げ方が大変

市木小3年
大下桃華さん

1年生のときから毎年『子供柱松』に出ています。ボール(手松)を投げるのはむずかしいので、友だちとたくさん練習をしました。今年も入れることはできなかったけど、すごく楽しかったです。来年は入れられるように、がんばります。

Scene 4

串間の安全を誓いました



10月6日、文化会館で第9回串間市地域安全・交通安全市民大会が開かれました。「みんなでつくる安全で住みよいふるさと串間」「交通安全ゆずる優しさ待つゆとり」をスローガンに、長年尽力されてきた方々への表彰や串間警察署からの総括も行われ、交通安全への意識を高めました。宮崎県警察音楽隊による演奏や抽選会もあり会場は大いに盛り上がりしました。



INTERVIEW

あいさつ大事

福島地区・鹿谷
木島克己さん

受賞できたのは地区の皆さんのご協力のおかげです。毎週1回はパトロールを行っています。最近は地域の『絆』が薄くなってきていると感じます。地域のつながりは、あいさつが基本。これからも地域の安全のために尽力していきたいです。

Scene 3

野菜づくりの知識を学ぶ



10月6日、串間市人材育成推進協議会(奥村善朗理事長)が主催する野菜づくり教室が開かれました。農協などに勤務経験のある理事長が自ら講師を担当。昨年からの定期的開催しています。今回は25名が参加し、野菜の分類や土の相性などを勉強。具体的な世話の仕方を積極的に質問していました。その後、近くの畑に移動。教わりながらダイコンの種をまきました。



INTERVIEW

日々勉強です

大東地区・大平
遠山ひろみさん

昨年串間に移住してきました。野菜づくりは全くの素人でしたが、先生のおかげでキュウリやナスなどたくさんの野菜を作ることができました。今では家の前が畑になっています。野菜づくりは勉強の日々です。これからも頑張りたいです。

Scene 2

笑って元気になりました



10月1日、大分県観光特使である矢野大和さんの講演会が、幸島ドライブインと総合保健福祉センターでありました。それぞれ、NPO法人レインボーツリーとくしま市民活動交流センター「バナップ」が主催。矢野さんの「口演」の多くは「笑って元気」がテーマです。身振り手振りを使った軽妙な話しぶりに、会場は元気な笑い声と笑顔でいっぱいになりました。



INTERVIEW

心から元気に

市木地区
安部サチ子さん
平塚民子さん
八代律子さん

大笑いしました。笑うことは沈んでいた心を元気にするので、とても楽しかったです。人との話し方、接し方ひとつでも印象が違うということが勉強になりました。また来てくださるときは、知り合いも誘って、一緒に大笑いに来たいですね。

Scene 1

御崎馬と人間の知恵比べ



9月29日、都井岬で伝統の『馬追い』がありました。都井御崎牧組合や宮崎大学、市や中山間盛り上げ隊などから約80人が参加。年に1回、ダニ駆除などのために行われています。台風接近による雨と霧で視界が悪い中での作業は人間と馬の群れとの知恵比べ。参加者は竹の棒で馬を追い立て、列を作り包囲。85頭のうち58頭を2カ所の柵の中に収容しました。



INTERVIEW

貴重な体験に

中山間盛り上げ隊
吉元まゆみさん

普段行けない場所まで、馬を探しに行きました。まるで日本ではないような風景に感動しましたね。馬と対峙したときは少し怖かったです。でもちゃんと人間を避けていったので、馬は賢い動物だと感じました。来年もぜひ参加したいです。

【お詫びと訂正】 先月号の当ページで紹介した『堀透君』は『堀祐樹君』の間違いでした。お詫びして訂正いたします。